

や 広報たしる

No. 283

昭和52年4月1日

田代町総務課編集



花瀬公園まつり 大いににぎわう

恒例の花瀬まつりは、絶好の天気にもぐまれ、盛大に行なわれました。

歌のゲストに、アイ・ジョージをむかえ、町内一周駅伝大会は公園前を十一チームがスタートし、高校が優勝、春の楽しい一日となりました。

また町では、現在公園の整備は年次計画で進めており、二・三年後位には、家族向きの公園が完成する見こみで、今後、益々公園まつりは盛大になると考えられます。

四月の行事予定

- 20日(水) 小組合長会
- 26日(火) 農業委員会
- 28日(木) 町教育絵会
- 29日(金) 天皇誕生日

太陽と花と体力づくりチビッコ大会

四月二十七日

奥花瀬マス釣場 釣開き



ワサビの成育順調

姉妹与論町から

親善使節団

去る六日、姉妹町の大島郡与論町から坂元原澄町長、谷山慶介議長ら八人の親善使節団が来町し親しく交歓、一泊されました。

田代町と与論町の結びつきは昭和二十一年、当時開拓団として満州の盤山にいた与論町の人たちが敗戦で引き上げてきた。

しかし与論島は島が小さいうえ台風の常襲地帯で生活が安定していません。受け入れ体制も十分でなかった。そんな時に県からのすすめ、それに田代町からの温かい救いの手で開拓団の人たちは同町の国有林に入植した。

このような恩義を忘れず与論

町は四十四年六月、町農村センター落成式の時田代町の関係者を招待、両町は姉妹盟約を結んだ。その後、教育委員会スタッフの視察、先生の相互派遣など交流を重ねてきた。

今回、与論町の代表が訪ねてきたのは島の出身者がお世話になっているお礼と農村環境整備事業などの視察を兼ねて。昼前田代町にいた一行は、同町猪鹿倉義則町長、右田始議長らと固い握手をかわした。午後から町内一周され、盤山地区に夕方到着、茶園の見学、その夜はおそくまで歓談した。

農業後継者に

結婚記念品贈る

去る3月14日、なんぐう農協田代支所ホールに於て、昭和51年度挙式をあげられて農業後継者七組のカップルに、緑豊会総会の場で田代町長より結婚記念品が贈られました。

7名のカップルは次の通りです。

猪鹿倉昭雄	川畑 力雄
きぬ子	義千代
辺志切保美	上原 親利
三子代	千鶴子
有里 正志	白桃 勉
弥生	ユウ子
上田 一友	
浩子	

役場職員の異動

四月一日附 () 内は旧

◇課長級

- 総務課長 荻原健一 (建設課長)
- 税務課長 小榎正夫 (農委事務局局長)
- 民生課長 上ノ原鉄次 (教委事務局局長)
- 建設課長 古里 実 (経済課長)
- 経済課長 牧原 節 (総務課長)
- 教育総務課長 中原正美 (民生課長)
- 農委事務局局長 白桃 晋 (議会事務局局長)
- 議会事務局局長 竹ノ内哲哉 (税務課長)
- 総務課参事 平原良夫 (税務課長)

◇一般職員

- 総務課 榎本雄二 宮園恵子 (民生課)
- 岩下広行 (新採用)
- 税務課 中村光郎 (民生課)
- 松坂征幸 (経済課)
- 民生課 門前正二 (教育委員)
- 日高 公 (企画室)
- 名ヶ迫沢子 (収入役)
- 津曲涼子 (新採用)

◇念願の保健婦採用

私は、今年四月から田代町役場で保健婦として働くことになりました。津曲涼子です。

田代町の方々とお会いしてませんが、これから多くの方々と知り合いになれることと思います。

私は、今年の春、保健婦学校を卒業したばかりで、未熟な者



津曲涼子さん



岩下広行さん

52年度一般会計予算 9億0676万6千円

(三月定例議会)

3月定例議会が去る3月11日から29日まで、19日間の会期で開かれました。

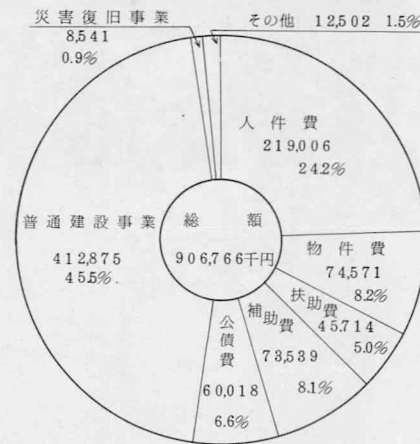
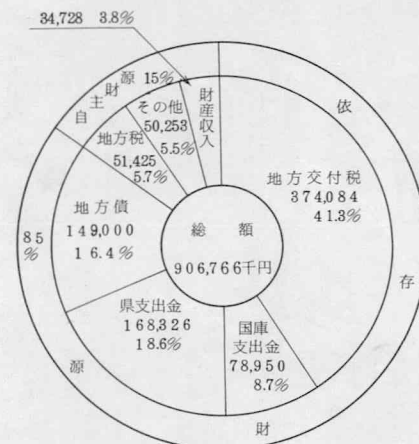
猪鹿倉町長の施政方針をはじめ、昭和52年度予算など25議案が上程され、それぞれ慎重に審議された結果、原案どおり可決されました。

◇一般会計予算

52年度一般会計当初予算は、前年当初の七億、六千九百九十九万二千六百の伸びとなっています。

歳入、歳出の内容は次の図の通りです。

	52年	51年	比較
国保会計	千円 178,784	千円 151,773	1.17
水道会計	千円 12,387	千円 11,593	1.06



歳出

◇五十二年度の 主な事業

- 老人福祉センター(五〇〇㎡)の建設、事業費 六六、五〇〇千円
- 山林振興事業として、栗山農道を五〇〇m 改良工事費として、一〇、一四〇千円
- 雄川農道の改良工事六五〇m 舗装工事八〇〇m 事業費 二二、二〇〇千円
- 辺志切・柴立線の町道改良事業として改良五〇〇m 事業費一〇、〇五〇千円
- 農村基盤総合整備事業として農道改良事業四線(折小野線、作ヶ平線、高畠線、山ノ口線)農道舗装三線(中村線、三本松線、作ヶ平線)集落道路の改良舗装(下馬場線、東ノ原線、原ノ前線)その他集落の排水施設等総事業費 九一、〇五〇千円
- 町道の舗装
○橋ノ口・折小野線の舗装工事(二、五九〇m)
○鶴ノ野・久木野線(二、一八八m)
○倉谷・大原線(七、七四m)
- 町道の改良
○鶴園・郷ノ原線(二、一五〇m) ※総事業費(四八、〇〇〇千円)
- 花瀬公園整備事業 (五、二〇〇千円)
- 公営住宅建設 十戸建設 事業費 (三六、四九二千円)
- 中央グランド整備(芝張り) (五、〇〇〇千円)
- 町民武道館建設(四〇〇㎡) (三、四四〇千円)
- 新田林道新設(三〇〇m) (九、六〇〇千円)
- 中尾茶生産総合育成事業 (九、七二〇千円)
- 地方培養対策事業 (三、〇五一千円)
- 養蚕飼育省力化事業 (三、〇〇〇千円)
- 活動火山周辺地域防災営農補助事業 (五、一三二千円)

ですが、みなさんの健康を守りさらに健康を増進させる一人の援助者として、頑張りたいと思います。

大切な健康を保ち、増進させるため、保健活動はなくてはならないものです。私は、特に田代町においては、成人病予防、母子保健が重要と考えましたので、これらを中心に活動して行きたいと思っています。

保健活動は一人ではできません。太陽の子推進員、栄養改善推進員、ホームヘルパー、民生委員、その他いろいろな方々の協力、援助が必要です。そしてみなさんの協力も欠かせません。田代町のみなさんが、自分達で健康を守るため、私をおおいに活動して下さいを希望します。どうぞよろしく願います。

◇ほんとうにご苦労さん

川原保育園の給食婦として、長い間勤務していただいた近川トキさんが、三月三十一日附で退職されました。



五十二年度農作業標準賃金決まる

去る三月三十一日の農業委員会、五十二年度農作業の標準賃金が、次のとおり承認されました。

大工賃金
5,500円に
時間午前八時～
午後五時半

昭和52年度農作業標準賃金

1日当たりの農作業賃金	男 2,800円 女 1,900円
茶摘み賃金	1日 1,900円
水田賃耕料金	耕起のみ(10アール当り) 5,000円 (水田車輪使用の場合は1,000円増)
	整地のみ(10アール当り) 5,000円
	田植機料金(10アール当り) 5,000円
	稲刈機料金(10アール当り) 6,000円
	脱穀料金米・麦1俵当り 500円
畑作耕料金	早期水稻箱苗作り(10アール当り) 7,000円(種子代含む)
	整地のみ(10アール当り) 4,000円

安全のため10日前にはお知らせ下さい

工事現場の近くに電線がある場合は、少なくとも工事着工の10日前までに最寄の営業所へご連絡ください。

電線にポリ管を取り付、工事の安全を図ります。

なお取り付は、原則として無料です。

九電鹿屋営業所電話番号の
便 新：鹿屋(四)一三三三三
旧：鹿屋(三)一三一六一

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき

	51.4.1 現在
世帯数	1,415戸
男	2,197人
女	2,494人
計	4,691人

「教育だより」

の発刊について

教育委員長 名ヶ迫 広

この度「教育だより」の中に「教育だより」のスペースを頂きましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

この「教育だより」は町内の学校教育、社会教育に関するいろいろなことを町民の皆様にお知らせして、一層の深いご理解とご協力をお願いするためであります。

わが子が心も、体もすこやかに、できたら学業も優秀に、或は普通以上につけて、順調に育

五十二年度田代町教育の方針

一 人情豊かな田代町の、うろわしい教育風土の中で、心身ともに健康で、明るく、豊かな人間性をそなえ、強い意志と、創造性をもち、社会の進展に寄与し得る町民の育成をめざし、農山村にふさわしい教育文化の振興をはかっていきたい。

(1) 町民の声に耳を傾け、実

(2) 年々減りつつある児童、生徒の実態から、ややとすると、学習への意欲を欠き、やる気を失い消極的になる点に留意し、小規模校のよさを十分発揮し、特色

反面子に干渉し過ぎない、がみが言い過ぎない親でありたいものです。

近頃の学校には見たこともないような新しい教育用の機器が入っており、教材の内容も大分こととなり、先生方の教え方も昔とは随分ちがいます。どうか学校参観日にはお母さん方はもとよりですが、時にはお父さん方も子どもの勉強ぶりを見に行ってください。

家庭教育、学校教育、社会教育について、町民の皆さんのご意見なり、ご疑問がございましたらどうぞ、ご遠慮なく教育委員会事務局に申し出てくださるようお願いしてご挨拶いたします。

のある学校教育の創造に力を入れたい。

(3) 国や県・町をはじめ、各種関係機関、団体との連携を密にし、広い視野に立って積極的に、よりよい方策の実現に努力したい。

二 五つの重点目標

- (1) 調和のとれた人間形成をめざす学校教育の充実。
- (2) すべての子どもにゆきとどく教育の推進。
- (3) 教職員の資質・指導力を高める態勢づくり。

南大隅田代分校

Aチーム優勝

恒例の花瀬公園まつり町内一周伝大会が、去る四月三日行なわれました。

花瀬公園をスタートして、七区間、二〇、八kmを十一チームが沿道の声援に力走しました。

成績は次のとおりです。

順位	チーム	時間	分秒
1位	高校A	17	14
2位	猪鹿倉青年	19	18
3位	高校B	20	20
4位	田代中	21	23
5位	大原中A	21	25
6位	盤山青年	22	06
7位	上川原青年	22	21
8位	下川原青年	26	21
9位	大原中B	27	12
10位	役場	32	20
11位	農協	35	06

区間賞

1区	吉田 勝盤 山	9 35
2区	下八重健二 高校B	12 00
3区	白桃 幸夫 下川原	6 07
4区	田尻 光浩 大原中B	7 20
5区	水流 義行 田代中	7 25
6区	川路 陽一 猪鹿倉	14 28
7区	表木 俊一 高校A	18 14

たばこは
町内の店で
買いましょう

昭和52年度 田代町立小中学校人事異動

出					入				
現学 在校 勤学	氏 名	職 名	転出 校名	備考	転入者 前所属 学校名	氏 名	職 名	備考	
田代小	河 東 徹	教 頭	串良町中		川内市中	園 田 範 男	教 頭		
"	寺 崎 文 哉	教 諭	加世添小		大根占町	桑 鶴 義	教 諭		✓
"	川 畑 広 吉	教 諭	桜井小		垂水市小	榎 園 俊 治	教 諭		
"	江 口 豊	教 諭	鹿島市小		坊津町小	濱 園 博 臣	教 諭		
"	楠 原 正 人	教 諭	県立学		志布志小	森 村 善 治	助教諭		
"	肥 後 博 征	助教諭	大崎町小		新 採	竹 下 美 津 子	講 師		
"	飯 田 由 美 子	養護 教諭	県立鹿屋校		新 採	川 原 美 智 子	養護 教諭		
田代中	崎 元 盛 重	校 長	大山野小		上屋久町中	川 辺 敦	校 長		
"	梶 山 秀 広	教 頭	阿久根市中	抜てき	中星原中	田 代 清 子	教 諭		
"	月 精 里 志	教 諭	垂水市中					減 員	
"	野 田 政 雄	教 諭	大原市中		鹿屋市中	松 元 功	教 諭		
"	丸 山 孝 男	教 諭	西之表市中		名瀬市中	志 村 和 明	教 諭		
"	窪 田 満 穂	講 師	鹿島市中		新 採	神 蘭 浩 二	教 諭		
"	村 岡 範 子	養護 教諭	垂水市小		新 採	長 井 睦 子	養護 教諭		
"	奥 原 久 則	事務 職員	鹿屋市中		新 採	佐 藤 一 郎	事務 職員		
大原中	小 原 耕 一	教 諭	川辺町中		田代町中	野 田 政 雄	教 諭		
			川北中		樋脇町中	野 嶽 清 香	教 諭	長研補充	
					樋脇町小	久 保 幸 雄	事務 職員	新 設	



古い校舎と別れたのは、ちょっとさみしい気もするが、新校舎は、行く人も少なく、かわいそうな気がします。

生徒の声

新しい校舎で勉強できることは、あの雪が降った朝、寒い寒いと思いつつ、学校へ行っても、教室の中は暖かく、古い校舎では寒くて、手がかじかんであまり、勉強ができなかった。窓も、すき間風がはいってこなくなり、楽しい毎日を送っています。初めて、新校舎にはいいときは、「無人の建物」という感じだったのが、今は、もう私たちの生活の場として、なっています。反対に、古い校舎は、行く人も少なく、かわいそうな気がします。

大原中学校 新校舎で授業始まる

春を造ってくださった方々に感謝の気持ちを持って、大切に扱ってこれから、はいつてくる後輩に、気持ちよく使ってもらうようにしたいのです。

「野鳥を守る会」発足

朝の静けさの中で小鳥のさえずりは、なんとなく一日のスタートに活気をつけてくれます。ところが、最近では農薬の使用や竹ヤブなどが少なくなり、そして乱獲もあって、春をはこぶウグイスやヒバリ、ホホジロの小鳥が年々少なくなってきました。

これらの野鳥を守るために、「野鳥を守る会」が発足しました。野鳥を自然の中のびのびと生き、小鳥の楽園と、さえずりを聞きながら、私たちの人生もよりによりはあります。

町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。だれでも気軽に会員になれます。

野鳥を守る会

会長 平石常蔵
副会長 小牧昌枝